

# まちのわだい

## 全国各地の地ビールを楽しむ

### 〜地beerfest大山2012〜

全国の地ビールが集まった、「地ビールフェスト大山2012」が、8月18日から2日間、大山榎水高原で開かれ、大勢のビールファンで賑わいました。

今年で2年目の開催となった今回は、大自然の中で日本全国の地ビールを味わおうをテーマに開催され、全国各地の地ビールメーカー13社、50種類の地ビールが提供されました。

参加者は、若者や外国人が多く、開放的な雰囲気の中で、こだわりの地ビールをおいしそうに味わっていました。

地元伯耆町からは、今や全国的な地ビールブランドとなった、大山Gビールが出演。昨年、イギリスで行われたビールの国際コンテストで、主力商品のヴァイツェンがグランプリに輝いた話題性もあつて、多くの人が集めました。今年、地ビールフェストには、期間中およそ3000人が訪れ、イベント会場に加え、榎水周辺の観光施設も大いに賑わったというわけです。



大山を眺めながらビールを楽しむ

## 夏の夕暮れに美しい音色

### 〜たそがれコンサート〜

第10回たそがれコンサートが8月25日、植田正治写真美術館野外ステージで開催され、夏の夕暮れの一と時に素敵な演奏が響きました。

コンサートには、岸本小学校金管バンド、岸本中学校、溝口中学校の吹奏楽部、そして伯耆町吹奏楽団が出演。今年



岸中・溝中吹奏楽部・伯耆町吹奏楽団の合同演奏

はテレビドラマの主題歌の他、国際まんが博にかけて、名探偵コナンやゲゲゲの鬼太郎といった人気アニメの主題歌などが演奏されました。また2学期から外国語指導助手として溝口中学校に赴任した、アレックサンダーパーガムス先生が、7歳から始めたという特技のバイオリン独奏を披露しました。

この日も残暑の厳しい一日でしたが、夕方になると風も涼しく、心地よいコンサート日和となりました。

## 悲惨な戦争を繰り返さないために

### 〜伯耆町戦没者追悼式〜

戦没者の追悼と平和を祈念した伯耆町戦没者追悼式が9月6日、鬼の館で行われ、遺族や関係者およそ150人が参列し、役場、議会からも多くの関係者が列席しました。

はじめに、厳粛な雰囲気の中、参列者は黙祷を行いました。第2次世界大戦では日本全体でおよそ310万人が亡くなり、伯耆町でも550人が戦争の犠牲となりました。

式では、森安町長が「戦没者の方々に追悼の意を示すとともに、この式を通じて命の尊さを改めて認識しました。」と追悼の辞を述べました。続いて、伯耆町遺族会副会長の野坂弘道さんが、遺族の代表として、英霊に対し追悼の言葉を送りました。最後に参列者一人ひとりが献花を行い戦没者の冥福を祈りました。



英霊に花をささげる参列者

## 地域のスポーツ拠点として

### 〜二部小学校体育館地鎮祭〜

二部小学校で、新たに建設される体育館の地鎮祭が9月9日、行われました。

二部小学校の体育館は、耐震性に問題があることから、今年度新築することになりました。この日の地



体育館建設予定地

鎮祭には、森安町長や町議会議員をはじめ、建設関係者らおよそ20人が出席し、工事の安全を願いました。

新築される体育館の請負金額は、およそ1億8249万円です。米子市の株式会社金田工務店が建設を行います。延べ床面積はおよそ599㎡となり、前の体育館よりも、およそ143㎡広くなります。また、会議室や更衣室などが設けられることになっています。

神事では森安町長による鍬入れや、関係者による玉串奉てんを行い、工事の安全を祈願しました。完成は3月8日を予定し、その間小学校の体育授業は校庭で行い、秋に開催する学習発表会は、鬼の館で行われることになっています。

## 小さな鉄人の熱き戦い

### 〜ジュニアトリアスロンイン伯耆〜

小学生の鉄人レース、オールジャパンジュニアトリアスロンイン伯耆が8月19日、伯耆町総合スポーツ公園で開催され、選手は上位入賞と自分の限界に挑みました。

18回目を迎える今大会には、地元はもとより、遠くは埼玉県や東京都などから271人が参加しました。そのうち伯耆町からは27人の児童が出場し、上位入賞を目指しました。

レースは小学校低学年、中学年、高学年そしてリレーの4つの区分で行われます。そのなかでもコースが最も長い高学年は、水泳が200m、バイクが4000m、ラン3000mと、まさに鉄人レースと呼ばれるにふさわしい内容となっています。日中は気温35度と、とても暑い一日でしたが、選手は保護者から声援を受けながら、力いっぱい競技し、自分の限界に挑戦していました。



エイドステーションで水分補給

## 熱演と声援が初秋の青空に響く

### 〜溝口中学校運動会〜

秋晴れの下、溝口中学校運動会が9月9日行われ、生徒が元気いっぱいの演技を披露しました。

「ヴィクトリー 僕らみんなでつかむ夢」をスローガンに、入場行進で幕を開けました。運動会の種目は、個人種目の100メートル走から、チームの力を結集して戦うリレーなど、合わせて14種目。トラックやフィールドを舞台にした熱戦は、会場を大いに盛り上げました。

毎年見せ場となるクラス対抗の競技では、生徒たちもヒートアップ。むかでリレーでは、5人の息がぴつたりと合い、足が繋がっているとは思えないようなスピードで走りました。また、クラス対抗の応援合戦は、生徒たちが夏休み期間中からアイデアを出し合い、練習を積み重ねていました。会場からは大きな声援と惜しみない拍手が沸き立ちました。



5人1組のチームプレー むかでリレー